

第5学年体育科「みんなでつないで キャッチアタックバレーボール」 ～ボール運動「ネット型」～

学習指導者 山口 誉之

単元の概要・子供と共有した目標 自らの目標に向かう姿

単元の初めに、簡易ゲームの中でボールを上からはじく楽しさを感じた子供たちは、アタックを決めて得点したいという思いをもち、アタックの練習をした。その後、1度目の対抗戦をする中で出た、「チームで作戦を立ててから最後にもう一度対抗戦がしたい」という声を基に、「最後の対抗戦で勝つためにチームに合った作戦を見付けよう」と目標を設定し、活動内容を話し合いながら進めていった。

見通し 問題を発見して、課題を設定する姿

前時の活動を振り返り、最後の対抗戦に向けたより得点につながるレジェンド作戦が見付かったか問いかけた。補助黑板を基に、対抗戦で使える作戦を複数見付けることの必要感を共有し、本時の課題を確認した。

最後の対抗戦で勝ちたいという思いから、より得点につながる作戦を複数見付けたいと思いを表出した。



対抗戦で有利に戦うためにレジェンド作戦を複数見付けたいね。

チームに合った作戦を見付けよう

行 動 諦めずに試行錯誤する姿

前時の活動を基に、本時の活動内容と時間配分を子供と確認した。チームで試していく作戦を選ぶ際には、「チームに合った作戦を見付けるにはどうしたらよかったかな」と問いかけ、「**チームで話し合い、うまくいきそうな作戦から試す**」という方法の想起を促した。作戦を選択する・試す際には、「チャレンジボード」を準備し、複数の作戦を選択してデータが取れるようにすることで、子供たちがチームに合った作戦を見付けるために試行錯誤する姿を目指した。試しのゲームの合間に「思考タイム」を設けることで、作戦の成功回数から、レジェンド作戦を決定したり、チームに合った作戦を選び直したり、次に試す作戦やその動きを話し合ったりできるようにした。

本時試す作戦を選択する際には、「チャレンジボード」の裏に並べた作戦をうまくいきそうな順に並べ、試す順番を決める姿が見られた。作戦を試す際には、どのチームも「チャレンジボード」表に作戦が成功したか失敗したかのデータを取り、試す作戦を変えたり、動き方の確認をしたりしながらチームに合った作戦を見付けようとしていた。また、兄弟チーム同士で各作戦の動き方やボールを打つ位置などのアドバイスをし合う中で、相手の位置を見て作戦を変えたり、打つ場所を変えたりする方がよいという戦術的な気付きも出てきた。



ブロックが居ない方に打ったら成功したと思うよ。

振り返り 自らの学びを正確に捉える姿・今後の学習や生活に生かそうとする姿

キャプテンを中心に、チームで「うまくいった作戦」「次にしたいこと」について振り返る時間を設けた。その際、複数の作戦を粘り強く試したことでレジェンド作戦が見付かったことを価値付けた。

チームのレジェンド作戦が見付き、今後の対抗戦で相手や状況に応じて作戦を使い分けたいという思いを高めた。



成功回数が多いから対抗戦で使うレジェンド作戦にしよう。

考察（○：成果、▲：課題）

- 「チャレンジボード」を使って複数の作戦を試し、成功回数のデータを取る活動を取り入れることで、チームに合った作戦を見付けようと粘り強く取り組む姿が見られた。
- 何度も作戦を試す中で、基本的なボール操作の習得や戦術的な学びが見られた。
- ▲ 作戦が成功する喜びを味わわせるためには、本時にも勝敗のあるゲームを取り入れる必要があった。

右のQRコードから、学習指導案や他の実践をご覧いただけます。

